



台風・大雨に対する備えは 十分ですか？

強風対策

台風や大雨は、毎年のように本県を襲い、大きな被害をもたらします。

これらは、突然襲ってくる地震とは違い、事前に情報が得られます。テレビやラジオ、防災行政無線などから出される情報には十分注意しましょう。

台風の備え

- ・ラジオやテレビなどの気象情報をよく聞き、進路などを確認する。台風が近づくと深夜でも気象情報が放送されます。
- ・出来るだけ外出は控える。
- ・早い時期に家の周りを見回り、飛ばされそうなものは室内にしまつ。無理なようなら、固定するなど飛散防止対策を！
- ・雨戸・看板・塀などは、倒れないように固定する。
- ・停電に備えて、懐中電灯や携帯ラジオなどの防災用品を準備する。

- ・ものほしざおや植木などの飛ばされそうな物は片付ける。
- ・アンテナなどは、支持棒や針金で固定する。
- ・雨戸を閉める。無い窓は、ガムテープをはって、カーテンをひく。
- ・車庫、物置などは、支柱を太い針金、ロープなどで固定しておく。
- ・屋根の瓦やトタンは飛んだり、めくれたりしないように補強する。
- ・庭木などは、支柱などを使い幹を補強する。

大雨に備える

- ・排水溝や雨といの掃除をしておく。
- ・川沿いの家は、土手や堤防に危険箇所がないか見ておく。

台風や大雨が襲ってきたとき

- ・ときどき家の周囲を見回り、危険がないか確認する。
- ・川沿いの家は、水かさの増加に注意する。

- ・浸水などの恐れがあるところでは、家財道具や食料品、衣類寝具などの生活用品を高い場所へ移しておく。
- ・大雨が長く続くと地盤が緩み、がけ崩れが発生する危険があるので、十分注意する。
- ・避難に備えて、貴重品などの非常持出品の準備、数日分の飲料水、食料を確保しておく。

台風や大雨が去っても注意

- ・台風や大雨が去っても、土砂災害には引き続き注意が必要です。
- ・土砂災害が発生する前には、普段はわき水がないところから水が噴き出す、がけの斜面を小石が転がり落ちるなどの前兆現象が起こる場合があります。
- ・このような現象を発見した場合には、速やかに避難するとともに、大崎町役場消防交通係に連絡をお願いします。

【連絡先】

大崎町役場消防交通係

0991-4761111

(内線214)

すこやか長寿社会運動推進協力員に 川越義盛さんが委嘱されました

鹿児島県の65歳以上の高齢者の割合が、ほとんどの市町村で25%を超えており、大崎町でも平成18年5月31日現在、約30%となっており、今後ますます増加する傾向にあります。

このような状況の中で、高齢者ができる限り住み慣れた家庭や地域の中で、健康で生きがいをもって暮らしていけるように『すこやか長寿社会づくり運動』の浸透・普及を促進するため、平成18年4月1日から平成20年3月31日まで、菱田地区の川越義盛さんが鹿児島県知事から『推進協力員』として委嘱されました。

【問い合わせ先】

長寿社会推進センター（鹿児島県社会福祉センター内）

☎ 099 - 250 - 7441



川越 義盛さん